

青山学院大学社会情報学部 青山・情報システムアーキテクト育成プログラム
上級履修モデル (ADPISA-H) 2024 年度募集要項

青山学院大学社会情報学部
青山・情報システムアーキテクト育成プログラム事務局

■プログラムの概要

青山・情報システムアーキテクト育成プログラムADPISA は、DX 時代の情報システム創出を担う「情報システムアーキテクト」を育成する社会人向け教育プログラムです。その中の上級履修モデルであるADPISA-H は、ユーザー系、ベンダー系人材が協力して IT を使った新サービスを創出し、絶え間ない改善を行っていく情報システム開発をモデルとして、それをユーザー、ベンダー双方の視点から牽引するアーキテクトを育成します。

運営主体となる青山学院大学社会情報学部は、文理融合教育、実践的問題解決教育を指向しており、情報システム人材の育成はその一つの柱となっています。本プログラムにより、社会人向け教育プログラムを揃え、産学連携によって次代を担う情報システム人材の育成・交流の場を作ることで、情報システム人材育成の拠点となることを目指しています。

■履修証明書

本プログラムは、青山学院大学履修証明制度に対応しています。修了要件を満たした方は、学校教育基本法に基づく履修証明制度により履修証明書が交付されます。

■募集人員

20 名（応募資料による選考を行います。）

■講座実施場所

2024 年度のADPISA-H は、青山キャンパスでの対面式授業を基本に、Zoom を使用したオンラインでの講義も含めて実施します。オンライン講義の詳細は別途連絡します。

■開講期間

2024 年 6 月 29 日（土）～2024 年 11 月 2 日（土）

（その他、6 月 22 日（土）にキックオフ、11 月 23 日（土）に修了式を開催予定）

■出願資格

大学卒業者、またはそれに相当する者。情報システムに関する実務経験を持つ者。

■出願書類

下記のサイトにある受講申込書にご記入の上、送信してください。

<https://adpisa.si.aoyama.ac.jp/adpisa-h#information>

■受講申込期間

2024年3月18日(月)～2024年4月30日(火)

■選考基準

受講申込み書の履歴、受講の動機などから選考します。主な判断基準は以下です。

- 出願資格を満たしているか否か
- 学ぶ意欲が高く、開講期間の受講科目を履修することが可能か否か
- ADPISA-H 修了後、ADPISA-H で得た職務遂行能力を活かすことができるか否か

■選考結果通知

2024年5月1日(水)

■入学手続き・受講料等

受講の受入れが決まりしだい振込情報をお伝えしますので、所定の期間内に受講料の振込を完了してください。

振込締め切り日(予定) 2024年5月31日(金)

受講料	
120 時間(履修証明対応)分のセット受講料 (すべての科目の受講が可能です)	400,000 円
60 時間(履修証明対応)分のセット受講料 (総時間数 120 時間未満の科目の受講が可能です)	240,000 円
1 科目を単独に受講する場合	1 科目あたり 60,000 円
ADPISA 履修証明取得者対応の単科受講料 (Alumni 割)	1 科目あたり 30,000 円

法人によるお支払いには請求書の発行も可能です。その他、個別のご相談やご質問は、事務局までお問合せ下さい。

■履修証明対応の修了要件

以下のすべての要件を満足した受講生に履修証明書を発行します。

- (1) 修了した科目の総時間数が規定時間数(60 時間または 120 時間)以上であること。
- (2) 必修科目をすべて修了していること。
- (3) 対面で実施する科目の 2/3 以上の時間数を対面で受講していること。ただし、ADPIASA-H 開講前に対面受講を免除されている受講生を除く。

青山学院大学社会情報学部附置リエゾンラボ
ADPISA (青山・情報システムアーキテクト育成プログラム) 事務局
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5 丁目 10 番 1 号
Tel: 042-759-6101 e-mail: adpisa-desk@si.aoyama.ac.jp

以上

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、神
と人にとりて社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。